

◆学級経営方針◆

どういう学級づくりをやっていきたいのか、自分の思いを書きます。目指す子ども像も書いておきます。

私が、学級担任時代（6年担任）に書いていたものを紹介します。

* 明るく温かく、活力あふれる学級づくり

- ・ 指示待ち型の風土を排除し、子ども自らが自分たちの学級の問題に取り組んでいけるような場の設定を行っていく。
- ・ 学級及び個人の実態を把握することに努め、特別活動・道徳・日常の活動を通して、好ましい人間関係をつくる。
- ・ 認め合う場を多く設定し、一人ひとりが〇〇小のリーダーとしての自覚を持てるような指導を行っていく。
- ・ 学校だけでなく、家庭生活・校外生活についても情報を求め、連絡を密にして、いろいろな面からの児童理解を図り、心豊かな子どもの育成に努める。

* 一人ひとりが主体的に取り組み、互いに高め合う授業づくり

- ・ 基礎的、基本的な学力を身につけさせるための方略を工夫する。
- ・ 学び方を育てることをメインとした学習指導を行っていくとともに、学び合う姿勢を大事にしていく。
- ・ 豊かな表現力を育成するために様々な場を使つての指導を行う。

◆学級経営の具体的な方策◆

ここからが学級づくりで取り組もうとしていることをすべて書き出します。

私の場合は、学級経営はあくまでも学校教育目標の具現化のために行うという考えでいましたので、ここでは、学校教育目標にそつて具体的方策を書くことにしています。

その中で、「目標」「努力点」「具体的方策」と書くようにしていました。

学級経営案については、山口学級活動ネットワークのホームページにアップしていますので、ぜひ一度ご覧ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

2 学習会の情報交換から…山口学級活動ネットワーク「春の学習会」より

4月3日に行った春の学習会、今回は、2年生ブロックで話し合われた情報交換の内容をまとめてお送りします。

2年担任ブロックで出たこと

①係活動でやらない子どもをどうするか

- ・一人一役で一人ひとりが確実に動けるようにする。
- ・当番活動と係活動をしっかりと区別し、お楽しみ会やお笑いなど、係が意欲的に動ける場面を設定する。
- ・係活動では、教師がいなくても学級が機能するようにしていきたい。
- ・生活班の中で係を決めてもおもしろいのでは。

②学級開きの日にどうするか

- ・教師の魅力を伝えるために、自分の得意なものを子どもに披露する。
- ・小学生を「笑楽生」というあて字で表し、どんなクラスを作っていきたいのかを話す。

③その他に教師として学級経営で気をつけたいことは何か

- ・子どもがやりたいという思いを大切にしている。
- ・帰りの会の良いこと見つけを行う。
- ・教室環境が悪いとクラスの雰囲気も悪くなってしまうので、自分たちで教室環境に気を配れるように指導する。
- ・当たり前のことを当たり前と思えるような働き方をしていく。
- ・人対人の関わりを常に意識する。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第90号は、5月下旬ごろ発行予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は260名を越えています。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆学級会の教科書づくり◆◇◆

希望の会のメーリングリストに、熊本の平野先生が「学級会の教科書」というものを紹介されていました。

学級会の教科書については、ずっと以前から必要だという声はあがっていましたが、なかなか実現に結びつかない状況でした。その先陣を切って提案してくれたのです。平野先生の提案された「学級会の教科書」をもとにして、たくさんの人がチャレンジしてくれるといいなと思っています。

山口学級活動ネットワークでも、ぜひ取り組んでみたいと思っています。

◆メールリングリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、新たにメールリングリスト「学級づくり夢工房」を始めました。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メールリングリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小） 津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小） 西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====